

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表 : 令和 6年 3月 1日

保護者等数(児童生徒数) 12人

事業所名: 重症児デイサービスプエオキッズ/重症児者デイサービスプエオウイング

回収数 11 割合 92%

|             | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | 無回答 | ご意見  |
|-------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|--|
|             |   |    |               |     |       |     |  |
| 環境・<br>体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 8  | 1             |     |       | 2   | ・もう少し広げればと思う時もあるが、その中でも十分遊べている。  |
|             | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 11 |               |     |       |     | ・PTの関わりもある。  |
|             | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 11 |               |     |       |     | ・バギーやベッド移乗の動線スペースはある。  |
|             | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 11 |               |     |       |     | ・整理整頓されており、限られたスペースを有効活用している。  |
| 適切な支援の提供    | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか  | 11 |               |     |       |     | ・日ごろの連絡がまめで、適切に分析やアップデートされている。<br>・気持ちや要望がきちんと反映されている。                           |
|             | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 10 |               |     |       | 1   | ・具体的な支援愛用が設定されてり、日々の活動報告から達成していると感じる。  |
|             | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 11 |               |     |       |     |  |
|             | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか  | 11 |               |     |       |     | ・とても寿日したプログラムで魔族している。  |
|             | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 1  | 3             | 1   | 6     |     | ・お便りなどでは見かけない。<br>・実際に行われているかが見えない。  |
| 保護者への説明等    | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 10 |               |     |       | 1   | ・契約当初に丁寧な説明があった。<br>・物価の高騰による負担はりかしているが、市・国からの支援があると嬉しい。                         |
|             | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 10 |               |     |       | 1   |  |
|             | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか  | 7  | 4             |     |       |     | ・送迎時に都度教えてもらっている。<br>・外出できない時もあるので、外部の公演や書籍があれば教えて欲しい。<br>・困った時にすぐ助けてもらい、感謝している。 |
|             | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 11 |               |     |       |     | ・週1回(土)の利用時にお伝えし、共通理解できていると思う。   |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表 : 令和 6年 3月 1日

保護者等数(児童生徒数) 12人

事業所名: 重症児者サービスプエオキッズ/重症児者サービスプエオウイング

回収数 11 割合 92%

|          |    |   |    |   |  |   |  |
|----------|----|---|----|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  | 10 | 1 |  |   | ・日頃から、良く話してくれる。<br>・安心できる面談・助言です。  |
|          | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   | 10 | 1 |  |   | ・事業所主体のものはある。<br>・定期的な開催はありがたく、参加できない時は残念に感じる。<br>・とても計画されてると感じる。                        |
|          | 16 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 10 | 1 |  |   | ・相談、困りごとへの対応がとても良く助けられている。   |
|          | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 11 |   |  |   | ・身体的な状況を細かく伝えてくれる。<br>・送迎時、連絡帳、公式LINEにて意思疎通がしやすくなっている。<br>・送迎の際など、お話しすることができているので、ありがたい。 |
|          | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか                | 11 |   |  |   | ・SNS HPが見やすい。更新されているのも確認している。<br>・お便りやSNSにて写真付きでわかりやすく発信されている。                           |
|          | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 11 |   |  |   |  |
| 非常時等の対応  | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。            | 9  |   |  | 2 | ・防災訓練しか知らなかった。<br>・避難訓練が行われているのかわからない。   |
|          | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 6  | 1 |  | 4 | ・備蓄品等の有無や期限のお知らせをしてくれている。<br>・防災グッズはあるので、安心しはしている。<br>・訓練が行われているかはよくわからない。               |
| 満足度      | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 11 |   |  |   | ・表現の幅がひろがり、喜怒哀楽を上手に引き出してくれていると感じる。<br>・出発前、帰宅後、活動の写真にて笑顔が見られる。<br>・毎回行くのを楽しみにしている。       |
|          | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 11 |   |  |   | ・とても満足している。  |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。